

みんなの 町議会

 神石高原町

第 44 号

平成27年10月15日



楽しく頑張っま〜す!!
(地域おこし協力隊)

■平成26年度決算	2
■町政のここを聞く (一般質問)	7
■ありやあどうなったん	18

黒字決算

認定

9月定例会

9月定例会は、9月7日から18日まで開かれました。

平成26年度の一般会計と8特別会計・病院事業会計を審議し、全会計を認定しました。

また、27年度一般会計と各特別会計・病院事業会計の補正予算含め35議案を審議し、すべて原案通り可決しました。一般質問では9人が町長・教育長に行政課題についてたずねました。

歳入

前年度比較では、額にして18億5699万円、率にして14・4％の減少。主な要因は、国・県の補助金や町債発行額の大幅な減少によるもの。

歳出

前年度比較では、額にして18億4137万円、率にして15％の減少。義務的経費は、前年度比で3％の減少で、主な要因は、公債費及び人件費の減である。

投資的経費は、前年度比で35・4％の減少で主な要因は、統合中学校の事業完了によるもの。

平成26年度に行ったおもな事業

遊休財産の解体処分	旧来見中学校校舎・屋内運動場解体（繰越） 旧神石中学校・旧永野南小学校解体設計業務	6719万円
消防ポンプ積載車購入	小型動力ポンプ積載車を油木方面隊に配備 2台	1819万円
医療機器購入事業	人工透析装置一式 電動低床ベッド 5台 他	3724万円
有害鳥獣駆除対策事業	ワイヤーメッシュ柵 2地区 箱わな 16基 パイプハウス型サル捕獲わな 4基	3084万円
神石牛ブランドの再構築	血統神石牛交配奨励補助金など	804万円

平成26年度
決算

全会計において

町の財政状況はどうなん

実質公債費比率は繰上償還を行ったことなどから1・4ポイント改善した。

実質公債費比率

10.1%

★実質公債費比率は…

25%を超えると、起債制限団体となる。

18%以上だと国・県の許可が必要。

基金・町債残高

(全会計)

単位：万円（四捨五入）

	25年度末残高	26年度末残高	増減額
基金残高（貯金）	92億3114	100億2582	7億9468
町債残高（借金）	166億8744	160億4282	▲6億4462

平成26年度 神石高原町各会計歳入歳出決算総括表

単位：万円（四捨五入）

会 計 名		歳入決算額	歳出決算額	差引残高
一	般 会 計	110億0361	104億1281	5億9080
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	12億5445	11億4726	1億719
	後 期 高 齢 者 医 療	3億8743	3億8588	155
	介 護 保 険	19億2486	18億9354	3132
	簡 易 水 道 事 業	2億0803	1億9219	1584
	飲 料 水 供 給 施 設 事 業	4251	3799	452
	農 業 集 落 排 水 事 業	2億6900	2億5023	1877
	総 合 開 発 事 業	2165	2160	5
	分 収 育 林 事 業	7	7	0
病 院 事 業 会 計		3億0879	3億0858	20
合 計		154億2039	146億5014	7億9190

決算質疑

26年度決算の主な質疑

総務課

橋本議員 消防力の強化策として、消防団員の装備充実を図るべきでは。

町長 消防団と協議しながら、各種装備の充実に努める。

久保田議員 スコラ高原管理運営基金は底をついた。今後も維持費はかかるが、基金の積み立てはしないのか。

町長 経営は厳しい。経営自体をどうするか検討している。町として基金は積まない。

木野山議員 5会計の単年度収支が赤字だ。財政運営について今後の考えは。

町長 前年度の繰越額も考慮し財政運営を行っている。必要な基金を設置し健全財政・健全運営に努める。

木野山議員 財政指数がかなり改善され、資金に余裕が出てきた。財政は行政の手段と言われるが、町長の考えは。

町長 本町は自主財源が乏しい。この事を念頭において行財政運営を行うが、将来負担比率がかなりのマイナスとなった。もう少し住民福祉、満足度向上の行政スタイルが必要だ。

まちづくり推進課

橋本議員 町外からの若者の視点で課題や問題点を探求し、解決のヒントとして大学生などの連携強化を進めるべきでは。

町長 平成26年度は、広島大学や山口大学などと連携し、地域課題の解決を支援する事業に取り組み成果が上がった。引き続きこの事業に取り組んでいきたい。

赤木議員 合併10周年記念講演になぜ為末選手であったのか。参加人数に対して講演料は適切であったのか。

町長 毎年のヒューマンフェスタ事業も兼ねており中高生が聞くのにもふさわしいと考えた。講演料は相場ものでもあり、妥当だ。

横山議員 地域おこし協力隊員4人が、来年3月卒業予定となっている。協力隊員の力が大きな支えとなっている地域では、今後の活動に不安を感じている。卒業後も引き続き地域の行事・活動に携われる体制はできないか。

町長 総務省の提案で最長3年間と決まっている。地域おこし協力隊の方は、地域になじんで積極的に活動し、すでに定住を決めている隊員もいる。

横山議員 さんわ温泉水の利用計画は

ミスト製造など事業が進んでいるが、水源周辺周辺の整備が必要ではないか。

町長 水源地から旧井関小学校までの管路工事を計画しているので、水源地周辺の整備は考えていない。



地域おこし協力隊もお手伝い 昨年の芋ほり交流会
(源流の里しんさか)



開会式での入場行進（広島県消防ポンプ操法競技大会）

横尾議員 婚活イ

ベントでカップルは出来るが、結婚に至らない。民間に委託は出来ないか。

町長 民間委託を推進していきたい。

久保田議員 ふるさと納税は、もっとP

Rが必要だ。182

ステーションや福山駅などでチラシの配布をしたらどうか。

町全体での取り組みが必要だ。納税手数料は5%だが、事務処理に経費がかかるようであれば、必要経費はもうすべき

だ。

町長 ふるさと納税のPR方法については、ピースウインズジャパンへの納税が突出した額であるが、PRがうまい。そのあたりも参考にしつつ、神石高原町のPR方法もさらに検討していきたい。

手数料の5%の根拠は他の市町を参考にしており、見直しは難しいが、検討の余地はある。

片山議員 全国から寄付先に指定されたピースウインズジャパンに、約7200万円の寄付がある。わが町に入るのは、手数料の5%のみだ。事務処理のために、臨時職員を雇った。ふるさと納

税本来の趣旨を逸脱している。見直しが必要では。

町長 この寄付金は、ふるさとへの恩返しと好きな地域を応援するとの側面がある。一部の団体への寄付金が出たのは犬殺処分ゼロに共感された方々が多かったため、本町のPRに大きく貢献した。本来の趣旨に逸脱していない。

今後わが町の発展に寄与する取り組みを行いたい。

産業課

松本議員 第2ト

マト団地構想を断念した経緯は、突然の県知事の決断と思うが、県の出先機関も

参加して計画してい

たものが、中止されるのは考えられない。

町長 知事から、483畝も荒廃地があるのに、なぜ新規に農地造成の必要があるのかなど指摘された。

保健課

片山議員 平成24

年度から26年度にかけ、油木高校から「看護学校進学者数」は9人いたにもかかわらず、奨学金制度利用者はゼロ。

「仏作って魂入れず」ではダメだ。

副町長 油木高校に本制度の周知・利用を呼び掛けている。町立病院と連携し、

病院の魅力度を高め、看護師の確保に努めたい。

橋本議員 障害者支援は、保健課・福祉課も相談窓口はあるものの、住民に周知されていないのでは。

町長 どちらの課へ相談してもつながるよう、引き続き対応に努めたい。

サービスや相談窓口などが分かりにくいことは、広報などを活用して周知する。

福祉課

横山議員 子育て

世代臨時特例給付金事業は対象者全員に支給できたのか。

福祉課長 該当者は850人で申請者は831人だ。未申請者には、個別案内や広報も行ったが全員からの申請には至らなかった。

学校教育課

赤木議員 教育支援事業での支援員や介助員に対して勤務の通年化や、研修の充実を検討すべきでは。

教育長 制度の趣旨にのっとっており現状でいきたい。研修に関しては教育委員会としても機会を見ながら行ってみたい。

横尾議員 来見小学校への進路が中

途半端な改修に終わっている。離合が困難な場合が考えられる。再度の拡幅は出来ないか。

教育長 公安委員会や地権者の了解を得てこの工事を行った。工事を行ったばかりなので状況を見ながら今後検討する。

生涯学習課

橋本議員 すべての施設ごとに使用の有無や頻度など一度精査し、今後の管理運営方法を検討するべきでは。

教育長 施設によっては、地域のイベント時の利用のみという所もあり、所在地の自治振興会などへ

利用の状況を確認する必要がある。施設の利用について地元の意向などを調査し、管理運営方法について検討していきたい。

片山議員 読書コンクールに小説「黒い雨」の応募数が28件。多様な価値観が認められるのが民主主義国。反戦・平和のみが絶対ではないと思うが。

教育長 「黒い雨」の部は、町内中学生が「15歳からの提言」として町長へ提案。

今年度は、一般の部も設け、「黒い雨」以外の図書の感想文も募集している。

平成26年度決算審査意見書（抜粋）

代表監査委員 岡崎 武志

監査委員 寄定 秀幸

「新たな挑戦」をスローガンに掲げ、「雇用の創出と働く場所の確保」を最重要課題と位置付け、多様な施策に取り組み、概ね所期の目的は達成された。

定住対策、企（起）業家支援、農林業振興対策、観光開発などについては、今後も引き続き取り組みを推進すべきである。

また、高齢者対策としての人と人が支え合うシステムづくりや、保健・医療・福祉の連携による地域包括ケアシステムの構築等が重要と思われる。人口減少社会への対応として、少子化対策や定住対策の推進と併せて、住民の理解を得ながら「協働のまちづくり」推進が今後の町政運営の課題である。

(1) 税等の収納率・滞納処理

税等の徴収は行政の根幹をなす極めて重要な業務であること認識され、滞納者への納税意識の高揚を図るとともに、引き続き収納率向上と滞納額減に努められたい。

(2) 財政状況

財政状況は健全化が着実に推進されているが、引き続き経常経費の抑制、無駄の排除、節約の徹底をされたい。

(3) 基金管理

基金管理は適正になされているが、基金運用については社会経済状況の急激な変化やペイオフへの対応を視野に入れて、引き続き安全・有利な運用を検討・対応されたい。

町政の「こころ」を聞く

質疑の一部を
要約して
お伝えします

質問時間は、答弁を合わせて
一人二時間以内で一問一答方式

問「特定空家等」への行政執行は

答 法の精神を遵守し行う



赤木 俊二 議員

Q 全国において適切な管理がされていない空家などが防災、衛生、景観等に深刻な影響を及ぼすケースがある。住民の生命・身体・財産の保護、生活環境の保護、空家などの活用を目的として、

本年5月26日に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が完全施行された。

特に倒壊の恐れや衛生上問題のある空家は「特定空家」とし、その所有者に対しては、市町村が撤去や修繕を勧告・命令できることになる。

町は国の基本方針に即し、地域の現状に沿った空家等対策計画の策定が必要となっているが、具体的な時期は。

A 町長 特別措置法の施行に伴い、市町村においては、協議会の組織化などの実施体制の整備、実態の把握、空家等対策計画の策定が必要となる。「特定空家等」の判断基準なども5月に国から示

された。

県では広島県空き家対策推進協議会の中で対応方針を検討中であり、これを参考にする必要がある。

A 建設課長 町内の空き家は約600軒あり、「特定空家」についての調査は未実施だ。

空き家などがもたらす問題を解消するには、防災、衛生など多岐にわたる政策課題に横断的に応える必要がある。

わが町は建築部局がないため、県の対応指針を参考に、条例などの整備を行っていきたい。

今年度中に町内の体制の構築を図り、来年度に協議会の設立や対策計画の策定を考えている。

Q 「特定空家等」に対する行政執行をどうとらえるか。

A 町長 各地区の中心地においても、空き家が点々とあり防災や景観の問題がある。地域性も考慮しながら基本的には法の精神を遵守しながらやっていきたい。



増え続ける空き家

問 協働支援センターへの の思いは

答 地域の課題を解決できる仕組みを



横尾 正文 議員

Q 協働支援センター
構想に対しての思
いは。

A 町長 合併以降、
行政の機能は縮小
を余儀なくされ、これ
からは人口減少によ
り、財政も行政サービ
スも縮小する。そして
運営が困難になりつつ
ある自治振興会も見受
けられる。

そこで旧町村を単位
とした地域コミュニ
ティの運営、合併によ
り縦割りとなった地域

の多様な団体のつなぎ
役、地域の課題を地域
で解決できる仕組みと
して検討している。
異論・反論もあるよ
うだが、構想に沿って
やっていきたい。

Q 進捗状況は。

A 町長 各地区で検
討を重ねているが、
地区ごとに温度差があ
り、進捗状況は若干の
差異があるように思
う。

一番の問題であるセ
ンター長・事務局長の
選任は出来ていない。
また業務内容や交付金
の額などを今後検討し
ていく。

Q 最初は、負担にな
らない出来ること
から取り組んでは。

神石地区では、相談
窓口業務や社会福祉協

議会との連携による健
康相談などの業務案が
出ている。

A まちづくり推進課長
地域ごとの課題が
あるので、そういった
ことを聞きながら、柔
軟な支援を考えていき
たい。

Q 交付金のあり方
は。

A 町長 「協働のま
ちづくり事業補助
金」の予算額3千万円
を4地区に配分するこ
とで説明しているが、
今後の協議の中で増額
も必要と考えている。
さらに、「協働のま
ちづくり基金」の活用
を考えている。

水質検査の結果は

Q 神龍湖の水質検査
の結果は。



神龍湖堰堤

A まちづくり推進課長
広島県環境保全協
会に依頼し、8月24
日に2カ所で取水し成分
調査を行った。

結果は、藻の種類で
あるアオコが3種類検
出された。

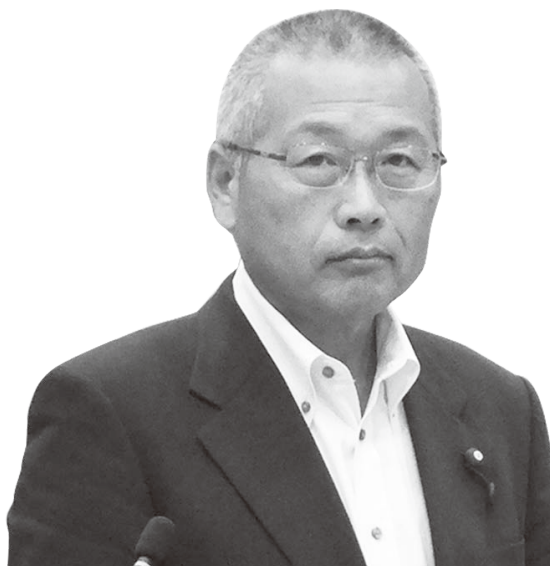
また、pH（水素イ
オン濃度）、COD（科
学的酸素要求量）、大
腸菌群数など、ほとん
どの分野で基準値を大
きく上回っている。

Q 早急に各団体の代
表からなる協議会
を立ち上げるべきと思
うが。

A 町長 利害関係も
含めると、関係者
が多岐にわたるため、
早急な協議会の立ち上
げは困難と考えるが、
検討は必要と思う。

その他の質問

・有害鳥獣対策



橋本 輝久 議員

問 総合戦略策定の内容は

答 事業継続の拡大など

Q 神石高原町版総合戦略策定は、短い

期間で集中審議を行い、9月に試案が策定された。具体的な施策や事業は。

A 町長 「人口減少対策ワーキングス

タッフ会議」での若者定住・Uターン促進プランの提言書を軸に検討し「神石高原町総合戦略」をまとめた。

政策として自立性、

将来性、地域性、直接性、結果重視の5つの原則を基本としている。現段階では、具体的な事業は今までの事

業継続の拡大などが多く、新規的なものは少ない。毎年度の施策の評価・検証をしていくものであり、国の補助事業を活用した事業も検討していきたい。

Q 新型交付金は、約1000億円の予定だが、わが町への交付金は数千円ぐらい

なもの予想され、あまり期待はできないのでは。

A 町長 国における交付金などの配分

額や方法については、新型交付金として検討

されている。現段階の

情報によると交付金の使途は、ソフト事業が基本となることや先進的な取り組みであることなどがある。

県に負担を

Q 安田・李地区のトマト団地の断念は

非常に残念な思いだ。これまでの調査費約4

500万円が無駄になった。県の責任は多大なもので、費用は県が負担するべきでは。

A 町長 平成26年8月に、安田・李ト

マト団地整備プロジェクト推進本部を立ち上げた。

成功のため計画書については、県からの提案を受け進めてきた。

山林開発した団地化

は断念したが、耕作放棄地を再生したトマト振興事業に、県からの上乗せ助成を強く要望する。

Q 小規模であつても、トマト栽培振

興を進めていくべきと考えるが、荒廃地利用の観点からも、積極的

に有効利用されるよう計画するべきでは。

A 町長 ハウス、養液土壌システムな

どを含め、国庫補助の対象になる耕作放棄地再生事業によるトマト栽培振興を進めていく。



ミニスポーツ大会（とよまつ保育所）

問 国道182号以外の 路線確保を

答 関係機関へ要望する



小川 清治 議員

Q 平成11年に国道坂瀬川登坂車線工事

A 町長 現在、平成23～27年度の実施計画で、交通安全事業油木～安田工区、橋梁補修大渡橋、道路災害防除油木工区が計上されている。平成28年度以降の計画は本年度中に策定予定と聞いている。

Q 一般国道182号の町内の次期改良計画は。

が、旧坂瀬川小学校共有地問題で中断している。共有地は今年5月に全て町有地となった。早期改良が望まれるが。

A 町長 坂瀬川共有地取得まで長い時間を要し、地元関係者の皆様にはお詫びする。今後は、次期整備計画に取り込めるように要望を行う。

Q 7月下旬から8月上旬にかけて国道182号百谷付近の災害により、全面通行止めとなり町内外多くの方に影響があった。関係者によると同じような事がおこると言われている。この道路は本町の「塩の道」である。国道182号一本に頼らず国道に替わる路線確保が重要だ。

A 町長 鉄道のない本町にとって、産業経済の振興はもとより、通勤、通学、通院などさまざまな分野で生活に必要不可欠な路線であると再確認した。

県に、早期完全復旧と災害防止対策の速やかな実施、迂回路の整備について交通体系確保のためにも強く望むところである。これまで、本路線の改良要望を行ってきたが、引き続き関係機関への要望を行う。

Q 町総合戦略策定委員会が、人口減少対策として毎年80人の移住をめざすなど、子育て支援や、雇用創出など五つの基本施策をあげ、町長も子育て世代の移住につなげたいと言われた。わが町が

将来にわたって持続的に発展するため、道路整備は最重要課題だ。

A 町長 災害後、いろいろと迂回路を調査した。姫谷から広瀬小学校までの約3キロを改良頂ければ南は2車線改良済みであ

り、最短で迂回路確保が出来ると思う。福山市の理解と協力をお願いし、国道改良やバイパス路線を確保したい。



復旧中の国道182号



寄定 秀幸 議員

問 若者の夢チャレンジ 支援をすべきでは

答 夢実現に向けて支援をする

Q 「挑戦のまち」をスローガンに掲げ、地方創生に取り組む本町にとって、次代を担う子どもや若者の人材育成が重要である。

神石高原中学校の昨年の文化祭で、3年生が発表した「神石高原町への提言」は大変素晴らしい内容であった。こうした若者の提言や地域活動の実践・イベント事業など、より良いまちづくりへの

アイデアなどの企画を提案してもらい、その夢へのチャレンジを積極的に応援・支援すべきでは。

A 教育長 文化祭では、地域の特産品である神石牛・神龍味噌・ニューピオーネなどやイベントのPR、観光資源などの施設の活用方法など3年生が発表した。

こうした取り組みは、神石高原町の活性化につながるると同時に、未来を託す教育や人材育成につながるため、教育委員会として応援していきたい。

Q キャリア教育を通して、地域の良さを郷土愛につながるよう、行政と地域が一体となった教育を推進すべきでは。

A 教育長 中学校では、地域探訪や職場体験、地域への提言、夢実現プロジェクトなどを行っている。

行政として中学生の提言を受け止め、耳を傾け、教育委員会として可能なものは実現していく。

A 町長 教育と行政のつながりを一過性ではなく連続性をもたせ、若者の夢実現に取り組むことが大切だ。中学生・高校生の夢実現へのチャレンジ支援を実施したい。

水質改善策を

Q この夏、国定公園帝釈峡神龍湖にアオコが大発生し、水質が最悪の状況となり、観光客は減少し観光産業に多大な影響を及ぼ

している。早急に水質改善に取り組み、帝釈峡観光振興を図るべきだ。水質改善にどう取り組むのか。

A 町長 水質改善対策を検討したい

が、現在では解決への決め手がない。本町単独では限界があるので、中国電力や広島県と連携し、水質改善への対応をする。



町への提言を発表する生徒たち（神石高原中学校文化祭）



丸山 達夫 議員

問 断念したトマト団地 その後は

答 荒廃地再生で生産拡大に

Q 第2トマト団地の
詳細な説明では、
事業実施行程まで出来
ていたが白紙となり、
荒廃地を利用し進めて
いくと聞いているが、
その計画はどのように
進んでいるのか。

A 町長 山林開発の
団地構想は断念
し、今後は分散してい
る荒廃地を有効利用し
て栽培していく計画で
ある。すでに担当課で

調査を行い、これに優
先順位をつけ、5カ所
が可能であると判断し
ている。場所的には豊
松地区が主体で研修生
の受け入れを図ってい
く。

また、トマトの売上
額も昨年を上回る予想
なので、早い段階で計
画を実行したい。

A 産業課長 耕作放
棄地再生事業は、

国の事業で2分の1が
補助で土地整備を含
め、ハウス設置や養液
土耕などがある。研修
生を町内外から募集
し、耕作放棄地で条件
は異なるが現地を決定
し、研修期間中に土地
の整備を行う予定だ。
早い時期に研修生を
募集し、栽培などの説
明会と、資金の必要な

方には融資制度の説明
も併せて行う。

期間中の支援は、国
の新規就農準備型支援
事業制度を利用し、1
年ないし2年の研修を
行い、3年目には就農
をする。年齢条件は就
農時点で45才までと
し、年間150万円の
助成がある。町は年
齢制限を50歳まで引き
上げ就農準備金
の支援も考えて
いる。分散して
いるため、機械
共同利用などの
リスクはある
が、トマト栽培
振興を進めてい
きたい。

Q 『アイメツ
ク農法』に
よる収益性の高

いトマト栽培の研修を
受けた。初期投資は掛
かるが若い方が農業に
従事するにはこのよう
な栽培方法も考える必
要があるのでは。

A 産業課長 技術の
ノウハウだけの習
得だけではトマト振興
と定住対策に繋がらな
いので地元生産出荷者

組合の方に技術の共有
などで指導を受け、定
住対策に繋げていき
たい。

住居確保なども必要
で建設課との連携を取
り行っていくと思い
っている。

**私たちと一緒に
神石高原トマト
の7口(農家)を
めざしてみませんか？**

**新規研修制度たちあげに伴い
平成 28 年度研修生を募集します!!**

神石高原トマト新規就農者研修事業

神石高原町では、広島県・JA 福山市・神石高原とまと生産出荷組合等関係機関とともに、特産のとまと生産に取り組むことを希望される方を対象にトマトの生産技術・経営管理等について研修・実習を交えた研修を行い、実際に生産をしていただきます。

また、研修終了後の就農、独立にあたっての斡旋・指導・補助等の支援を行います。

興味をお持ちの方は一度、お話を聞かせて下さい。

2015/07/10

トマト農業研修生募集ポスター



木野山 孝志 議員

問 協働支援センター 構想の主体は

答 住民が主体となるものだ

Q 協働のまちづくり
において自助・共
助・公助をどう捉える
か。

A 町長 行政と住民
が補完し合う事が
大事だ。自助2、共助
5、公助3という思い
だ。

Q お互いが対等で
のまちづくりが
大事だ。

協働支援センターの
組織図では、住民主体
となっており「民」の

自助・共助を効率よく
発揮させる組織だ。

「公助」の仕組みが
不明だ。本当に協働の
仕組みとなっているの
か。また、縦割り解消
は、行政側の課題では
ないか。

A 町長 協働支援セ
ンターを立ち上げ
たのだから、協働のま
ちづくりの理念に基づ
き補完していく。最初
からベストはない。逐
次改正改善する。

Q 人も居なくなつて
対応できない地域
も出てくる。「支援」
ではなく、出来ないか
ら協働で町の組織と一
緒にやりましようだ。
存続できる理想のま
ちになるよう時間をか
けながら良いものにし
て欲しい。

A 町長 提案してい
るのは叩き台だ。

そこを円卓会議で議論
してほしい。良いもの
を作っていきたい。

小・中学校の学力は

Q ①本年4月実施の
全国学力・学習状
況調査の結果はどう
だったか。

②平成24・26年度の調
査において判明した課
題への取組結果は。
③本年度調査結果にお
ける課題とその対策
は。

A 教育長 ①小学校
は全ての教科で、
平均正答率が全国及び
県平均を上回ってい
る。中学校は国語・理
科は平均正答率が上
回っているが、数学は
下回っている。
②知識問題は一定の伸
びを示したが、応用力
に課題があった。自ら
が課題解決する授業を

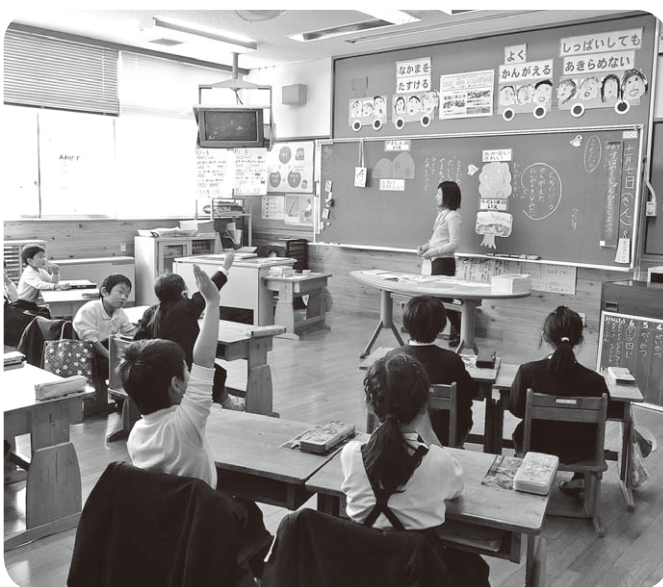
展開している。特に書
くことに力を入れる事
によりかなり改善し
た。

③小・中ともに、基礎
的知識活用力が不十分
だった。主体的な学び
を促し知識技能の確実
な定着を図り活用力を
育成していく。

Q 小・中学校ともに
本町のレベルは高
いことは誇りに思う。

学習習慣、学習環境調
査も肯定的な意見が多
く非常に良い傾向が出
ており高く評価する。
いくつかの調査の結
果判明した課題は、細
かく分析し深く踏み込
み課題を把握し、学習
環境の整備や子どもの
教育指導に専念すべき
だ。

A 教育長 前向きに
検討する。



油木小学校授業風景

問 農協法の改正での影響は

答 J A 福山市と連携



村上 克朗 議員

Q 農協組織の一大転換となる農協法の改正は、政府の掲げる農業は成長産業化に向けた改革を促す狙いだ。

この改革により、地域に影響があるのか。また農業所得の増大にどう繋がるのか。

J Aグループの新制度への対応が求められるが、農業者の所得増大という大目標は農協だけでなく、町行政も

関与するべきでは。

A 町長 農協法改正による農業の成長産業化に大いに期待したい。最も大きな販路を持つている農協が核となり、振興農産物の営農指導や栽培管理指導の徹底を図ること

で、農業者の所得増大に繋がると思う。本町としても県とともに、J A福山市と連携しサポートしていきたい。

Q 将来的に農畜産物の所得拡大に向けて、農協に依存するのではなく、町行政が先導し目標値の策定をするべきでは。

A 町長 農業生産拡大で、人口減少対策に向けた計画策定は行っている。

Q 農協法改正は、委員選出方法が公選制から任命制となり、過半数は原則として認定農業者とし、議会や団体推薦の選出は廃止となっている。

また農地利用最適化推進委員を設け耕作放棄地の発生防止や担い手への農地集積が進められる。

農地法の改正は

Q 農業者委員会法の改選は、委員選出方法が公選制から任命制となり、過半数は原則として認定農業者とし、議会や団体推薦の選出は廃止となっている。

また農地利用最適化推進委員を設け耕作放棄地の発生防止や担い手への農地集積が進められる。

農地を所有する要件緩和があり、農地集積など協同組合の企業化や一般企業の参入促進で自由競争が強くなると思うが、本町に影響はないか。

A 町長 農業委員の選出は、その実務の詳細は示されていない。TPPを背景とし

た農業への市場経済主義の導入と捉えていく。

一般企業の農業参入は決してマイナス面だけではない。

Q 地域の特性を發揮できる地域農業の創生計画に農協関係者が参画しているのか。

A 町長 農地の有効利用の仕組み作り

に農協、農業者へ利益が還元される仕組みづくりには農協が必要だ。



秋の収穫シーズン到来



松本 彰夫 議員

問 集落の維持・再生は

答 協働支援センターで取り組む

Q 高齢者の単身世帯は、約40%となっている。今後益々増えてくると思われる。このままでは集落の機能が失われ、維持できない集落も出てくると思われるが、その対策は。

A 町長 人口減少の中で、大切にしなければならぬのは人間関係である。集落に住んでいる人だけでなく、近距離に住んでいる人にも協力してもらう事が必要。

人口減少を前提とした新しい取り組みが「協働支援センター」である。

行政だけでなく町民と一体となり、集落や地域をどう守るか真剣に考え取り組む。

Q まち・ひと・しごと創生事業に、集落の維持・再生に向けての具体策が盛り込まれるのか。

A 町長 空き家バンクの推進などで、集落の空き家対策を取り組みたい。

高齢化対策は

Q 高齢化が進み、住みなれた地域で生活するためには、医療・福祉の充実が重要である。そのため、地域包括ケアシステムの構築は重要な課題だ。

神石高原町版包括ケアシステムの構築は重要な課題だ。

アシシステムの仕組みの具体策は。

A 保健課長 地域における医療・介護の総合的な取り組みを進めるためには、関係機関・地域と連携して、神石高原町版包括ケアシステムの仕組み作りに取り組む。

Q 高齢化が進み、地域によっては、葬祭の執行なども困難な集落も出てくる。死亡届や葬祭の準備などを代行する組織を考える必要があるのでは。

A まちづくり推進課長 行政で取り組むのは難しい。組織の再編など地域で考えてもらいたい。

小規模農業支援は

Q 農家の後継者不足、米価の暴落などにより、耕作放棄地が増えると思うがその対策は。

A 町長 中山間直接支払制度も、本年度より第4期対策が始まった。

集落連携協定が加えられた。集落間で連携・カバーし合うこの制度を推進したい。

Q 小規模で高齢化した農家が稼げる農業施策を考えないと、農業をやめる人も増えるがその対策は。

A 町長 特効薬はない。

町単独での農業支援には限界がある。農業の多面性などを訴え国全体で考えてもらうように働きかける。



油木地域敬老会で発表する油木保育所の子どもたち

9月補正予算をチェック

- 一般会計 補正予算額 5億8700万円
- 補正後予算額 99億8638万円

おもな事業

・看護師就職支度金貸与事業

1500万円
看護師として町立病院へ就職内定した者に限度額250万円を貸与。

・協働のまちづくり事業

1億5000万円
協働のまちづくり事業基金の積み立て

・道路橋りょう災害復旧事業

4409万円
公共土木施設災害復旧工事5件

・温泉資源活用検討事業

2600万円
水源から旧井関小学校までの管路工事

補正予算質疑

(誌面の都合上一部を掲載)

橋本議員 有機農業の新たな取り組み・振興に対する支援として、活動補助金360万円の内容は。

産業課長 福山市内の小学校給食に野菜を提供するほか、販売促進や生産拡大を図る活動としている。

についてはこれから検討する。

木野山議員 ふるさと応援条例に基づき

と応援条例に基づき収受した寄付金を指定団体に対して95%交付する件で、5%の事務手数料収入では足りないというのは本当か。

副町長 正職員一人分の給与には足りないが、基本的には1億円で500万円あり充足している。
まちづくり推進課長 9月補正で予算を1億2千万円増額し、総計で1億7千万円となるので5%では充分な額となる。

橋本議員 さんわ

温泉水は、町内外に知れ渡り、利用される方も多くなっている。今回の水源地から旧井関小学校への管路布設工事費には、取水口周辺の整備も予定しているのか。

まちづくり推進課長

旧井関小学校の取水口は、貯水タンクは見込んでいるが、取水口周辺の詳細に



ふるさと納税のお礼の品

議員 発 議

―賛成多数で可決―

- ・義務教育費国庫負担制度2分の1の復元、少人数学級推進などの教職員定数改善を求める

現在社会情況等の変化により、1人ひとりの子どもに対するきめ細かな対応が益々求められている。丁寧な対応を行うためには、ひとクラスの学級規模を引き下げる必要がある。

また、義務教育費国庫負担制度の国負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられた結果、自治体財政が圧迫され非正規教職員が増えている。憲法上の要請でもある教育の機会均等を保障するためには、国による教育予算の確保が必要である。

1. 義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国負担率を2分の1に復元

すること。

2. 地方交付税を含む国の予算を拡充すること。

3. 少人数学級を推進すること。具体的には30人学級とすること。

提案者 松本 彰夫
賛成者 橋本 輝久



笑顔いっぱい油木高校体育祭

まちの声

○みんなの町議会や議会中継を拝見させて頂いております。

それぞれの議員さんが一生懸命取り組んでおられる様子がよくわかります。
(63才 女性)

○町発展のために日夜努力頂いていることに感謝しています。

益々、高齢化が進んでいきます。お年寄りに優しい施策をお願いします。
(82才 男性)

○いつも町民の立場になって考え、身近な問題に目を向けた質問をして頂き感謝しています。議会だよりも大変読みやすく目を通しています。
(75才 女性)

○私たち町民の代表・代弁者としてこれからも議員の皆様にご尽力をお願いします。

いします。期待しています。
(65才 男性)

○安田・李地区のトマト団地が取りやめになったが、調査費約4500万円は実に無駄だ。
(66才 男性)

☆議会クイズに多くの皆様からご応募頂き、たくさんのご意見をありがとうございました。

励ましの言葉や厳しいご意見を頂いた事をしっかりと受け止めて、これからもご期待に添えるように努力していきます。

第25回

議会クイズ当選者

神石地区

伊勢村奈津枝さん

追跡ありゃあどうなったん？

神石高原ティアガルテン

「神石高原ティアガルテン」は、民間事業者の資金、ノウハウ（経営能力・技術能力）を幅広く活用し、経営環境を整えることにより今年7月にグランドオープンした。

平成26年度は、NPO法人からの寄付、国の交付金、融資など、資金1億2600万円により第1期工事を行い、牛舎、売店（ソフトクリームショップ）、遊具（ツリーデッキ）、入場ゲートなどを整備した。

今年度からの第2期・第3期工事は、国の補助金などを活用し、高原ハウスの改修やショップ&レストランなどを新設する予定だ。

園内には、牛や山羊などの動物と触れ合える体験型の施設があり、都市のファミリー層を中心とした来園者が、楽しめるようなコンセプトとなっている。



牛ってかわいいね

また、オリジナルの商品が開発され、地元のこんにゃくを使った「スムージー」や園内で飼育しているジャージー種などの牛乳を使った「ソフトクリーム」が大人気。



ツリーデッキ

条例制定・改正 こんなことが決まったよ

全会一致
条例の一部改正

・神石高原町

個人情報保護条例

・神石高原町

手数料条例

・神石高原町

医療従事者育成
奨学金基金条例

・神石高原町

斎場やすらぎ苑

・神石高原町

設置及び管理条例

・神石高原町

設置及び管理条例

全会一致
条例の制定

・神石高原町

立病院
看護師就職支度金
貸与条例

全会一致
工事請負額の変更

・小学校校舎等施設整備事業

・神石高原町立来見小学校校舎非構造部材耐震化工事

変更前

7527万5千円

変更後

7743万6千円

全会一致
人事

・人権擁護委員

佐伯知省さん

小川和子さん

小林伸平さん

松岡純夫さん

・来見財産区管理委員

藤井鉄男さん

池田央さん

河上隆光さん

藤井敬太さん

向井靖弘さん

宮本正道さん

福本正志さん

全会一致
過疎地域自立促進計画の変更

・豊松ライスセンター

機器整備事業

・豊松トマト選果場管理システム整備事業

・神石牛販売貯蔵施設整備事業

・町立病院政策医療交付金事業の追加

常任委員会の活動報告

総務文教常任委員会

○鳥取市役所

調査日時 7月28日(火)

調査場所 鳥取市

調査内容 ふるさと納税

調査概要

平成26年度は、1万2218件で金額は2億4191万円あり、中でも、高額寄付金が多く、10万円以上が982件となっている。

お礼の品は、鳥取県の味覚の二十世紀梨や鳥取牛・松葉ガニが人気で、主に大都市圏からの寄付が中心になっている。

総括

今後我が町も、お礼の品を増やし、好みの品が選べるようカタログの作成やふるさと納税サイトの開設、町出身者へのパンフレットの作成など、「神石高原応援団」を積極的に募集する取り組みが必要である。



鳥取市の取り組みを聞く委員

産業建設常任委員会

○あさくら菜園

調査日時 8月3日(月)

調査場所 兵庫県養父市

あさくら菜園

(八鹿鉄工株式会社 あぐり事業部)

調査内容

アイメック農法での収益性が高いトマト栽培

調査概要

無数のナノサイズの穴が開いていて、水と養分だけを通す特殊なフィルムを使って行う農法(アイメック農法)。ウイルスや病原菌などを通さないため病気にかかりにくい。

また、必要以上の養水分を与えないことにより多くの糖分やアミノ酸を作り出すので、高糖度で高栄養価のトマトを栽培できる。

総括

耕作面積が少ない本町では、効率的な農業の取り組みとして、アイメック農法の検討が必要である。

○やぶパートナーズ

調査日時 8月4日(火)

調査場所 兵庫県養父市

やぶパートナーズ

調査内容

副市長が代表の民間企業(第3セクター)の活動・農地の活性化

調査概要

行政では出来ない業務を行うことを趣旨とした民間企業。行政のアウトソーシングによって直接的な事業を行う。業務は主に起業サポートと商品開発や販売のための出口戦略。

総括

民間企業を活用し、官民一体となった取り組みが必要である。



角材を利用するボイラー (あさくら菜園)

元気なグループ紹介だよ



広島県ゲートボール連合及び東部支部加盟会員は7人で、その内審判員3級取得者が5人います。練習日は、毎月3と8のつく日で昼から3時間程度の練習で汗を流し、その後はみんなでお茶を飲みながら、いろんな話に花を咲かせています。

東部大会などにも参加し、本年、郡の大会では3位に入賞しました。

これからも生きがい対策の活動として、ゲートボール競技を通じて、楽しく和気あいあいと続けていきたいと思っています。



昭和末期から平成6年ごろまでは、上豊松地内にある稲干神社境内裏のグラウンドで、練習していました。

当時は15、16人の愛好者で楽しんでおられ、明治生まれの方も大勢おられたそうです。

平成7年から現在の上豊松コミニティー施設前のゲートボールコートを使用しています。

現在の会員は11人で最高齢は94才です。



上豊松福寿老人クラブ ゲートボール部

第26回 議会クイズ

《クイズ》空欄に適切な言葉をいれてください。

1. 平成26年度全会計を〇〇決算一般質問・協働支援〇〇〇〇への思いは
3. 元気なグループ紹介・〇〇〇福寿老人クラブゲートボール部

《ヒント》議会広報をよく読んでね。

《応募方法》

ハガキに「答え・住所・氏名（ふりがな）・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。

正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のやまなみ商品券をお送りいたします。

応募は、1人・1通に限らせていただきます。

《あて先》

〒720-11522

神石高原町小島二〇二五神石高原町議会事務局「第26回議会クイズ係宛」

《締め切り》

11月16日（月）消印有効

《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。

議会を傍聴してみませんか？ 次回の定例会は12月です

日程は告知放送などでお知らせします 一般質問はケーブルテレビで放送します

編集後記

神石高原町の人口は2060年には、このまま新たな対策を講じなければ、3000人あまりになるという「人口ビジョン」が出ています。

町の財政は、実質公債費率が10・1%となり、さらには基金残高も約100億となっています。

そこで改善した財政を有効に活用して、人口維持をどうするか考えていかなければなりません。

町民の皆様の知恵をいただきながら、議会も議論していきます。（横尾）

表紙写真紹介

後列左から

村上勇太さん・小埜洋平さん
三枝幸樹さん・徳田好朗さん

前列左から

松井二葉さん・長山恭子さん
荒木尚美さん

議会広報常任委員会

委員長 横山 素子
副委員長 赤木 俊二
委員 橋本 輝久
委員 横尾 正文

■発行 / 神石高原町議会

■編集 / 議会広報常任委員会

■発行責任者 議長 藤田晃己

■住所 / 広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 0847-89-3340
FAX 0847-85-4200